

「第7回さよなら原発福井県集会2018inふくい」へのメッセージ

「第7回さよなら原発福井県集会2018inふくい」にお集まりの皆さんに、日本共産党を代表して、心からの連帯のメッセージを送ります。

東日本大震災と福島第一原発事故から7年、「原発ゼロ基本法案」を国会に提出することが、立憲民主党と日本共産党で合意されました。原発の再稼働はさせない、短期間でも稼働を容認するものではないという核心部分で、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟の法案とも合致するものです。原発問題での野党間の合意は今回が初めてであり、大変重要な意義を持つものです。原発ゼロ基本法案の実現を野党共闘の一つの柱にすえて、協力を強めていきたいと考えています。

いま国民の多くが、再稼働に反対し、原発ゼロを求めています。福島原発事故による被害の深刻さをみれば、私たちの進む道は、原発ゼロしかありません。

大事故を経験したこの日本でこそ、原発ゼロ、自然エネルギーへの大転換を実現しようではありませんか。みなさんとともに、日本共産党も闘いぬく決意です。

2018年3月11日

日本共産党衆院議員／原発・エネルギー問題対策委員会責任者

藤野保史